

「受講者満足度調査で上位にランク」

「平成20年度・創業塾・経営革新塾」

平成18年度からスタートした創業塾・経営革新塾受講者満足度調査（調査機関：特定営利法人 ビュー・コミュニケーションズ）で、連合会を含めた県内6商工会（北谷町、与那原町、読谷村、うるま市、豊見城市）が上位30にランクインした。この調査は、受講者視点による満足度調査を実施、その結果から客観的な事業評価・分析を基に更なる中小企業政策実施機能の向上を目的としている。平成20年度の結果は次のとおり。

創業塾受講者満足度調査結果（89件中）

- 10位 沖縄県商工会連合会 種類 女性
- 29位 沖縄県商工会連合会 種類 ステップアップ

経営革新塾受講者満足度調査結果（122件中）

- 2位 北谷町商工会 種類 一般
- 3位 与那原町商工会 種類 IT戦略
- 7位 読谷村商工会 種類 一般
- 12位 うるま市商工会 種類 一般
- 30位 豊見城市商工会 種類 一般

ザ・ベンチマーク

家電市場を席卷する中国家電量販店「蘇寧電器」

今年建国60年を迎える中国。世界的な不況時下にも関わらず高い経済成長を遂げ、飛躍する経済大国として世界の投資家から注目を集めている。その中で注目を浴びる企業が、孫為民社長（46歳）の率いる家電量販店「蘇寧電器」だ。国内に900店以上の店舗と200の子会社を保有し急成長を遂げている。そこには孫社長の徹底した経営戦略が秘められている。

徹底した経営戦略

蘇寧電器は1990年、改革開放政策により国営企業に参入する形でスタートした。計画経済のもとで進めてきた従来の国営企業とは異なり、いきなり高級家電製品の販売から大衆消費者向け製品販売へ業態を変えた。その後も徹底したアフターサービスを展開、そのコールセンターには800人以上のオペレーターが24時間体制で対応している。人材育成面では、36,000人を採用、社員の平均年齢が27才と若さが際立つ。従業員の努力に対して昇進や報酬で応え、有能な人材を引き留める支えとなっている。

機会を捉える

2000年以降、中国は10%近い経済成長を持続し世界の投資家が中国に資金を注ぎ始めた。こうした投資家の動きを見据え、蘇寧電器は2004年深

圳証券取引所に上場、店舗展開の資金調達を可能にした。2009年には環境に配慮した中国政府の中古家電製品の買い替え補助制度300億円を追い風に市場浸透戦略の大きな機会を得た。

孫社長の描く企業戦略（海外展開）

孫社長は、今年、589億円の売上高を有する日本国内大手「ラオックス」の筆頭株主となった。顧客ニーズに徹した家電の陳列、新商品の開発など、日本企業の物流経営ノウハウに注目している。アメリカでは、コンピュータの大手製造メーカー「ヒューレットパカード社」と業務提携。ネットワークを活かして問屋を通さずダイレクトにメーカー側に商品を発注。商品在庫と供給のバランスをオンラインで一括管理し、欠品の防止、最適な価格決定を実現する経営モデルを確立。グループ総売上高4兆円を目標にしている。

孫社長の経営理念

「何を売るかではなく利益が出る商品は何でも売る。」これが孫社長の理念だ。「日本の家電市場は成熟化しているが、中国家電市場の約6割に相当する市場の魅力は興味深い」と言う。

中国改革開放政策の申し子は近い将来、世界の家電量販店経営者としてその名を刻むのも近い。